

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

国立大学法人埼玉大学

法人番号：20

学部・研究科等番号・名称：01・教養学部

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 教養学部 分析項目 I 教育活動の状況 〔判断理由〕</p> <p>【原文】 「特にダブルディグリープログラム では、第一号の卒業生を出している。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 現在まで、卒業生は輩出していないため。</p> <p>【評価項目】 教養学部 分析項目 I 教育活動の状況 〔優れた点〕</p> <p>【原文】 「特にダブルディグリープログラム では、第一号の卒業生が出ているほか、」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 現在まで、卒業生は輩出していないため。</p>	<p>【対応】 意見の内容は当該評価項目の〔判定〕、 〔判断理由〕に関する事実の誤記載である ことを踏まえて、当該事項を「優れた点」 から削除する。このことに伴い、判定を 「高い質にある」から「相応の質にある」 に変更する。併せて、判断理由、特記事項 についても以下のとおり修正する。 (修正内容) 1. 教養学部 分析項目 I 教育活動の状況 〔判定〕 相応の質にある 〔判断理由〕 教育活動の基本的な質を実現している。 〔特色ある点〕 ○ 学部全体では、グローバル教育を促進 するために GALA (文化大使) プログラ ム、アーカンソー州立大学 (ジョーンズボ ロ校 (米国)) とのダブルディグリープロ グラム (学部間レベル)、国際開発教育を 中心とした Global Youth プログラム、協 定校からの受入れを中心とするサマープロ グラムなど多彩な国際教育プログラムを実 施している。 (以下、省略)</p> <p>また、上記修正に伴い、中期目標に関す る達成状況の評価結果における大項目「教 育」への現況分析結果加算点が0.13から 0.11へ変更される。なお、このことによる 段階判定は変更なし。</p>